

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

令和8年1月
調査主体 福岡市

< ご記入にあたって >

1. この調査は、調査票をお送りした居宅介護支援事業所、いきいきセンターふくおかに所属している介護支援専門員の方に直接記入していただくものです。
2. 回答内容は、「知っている方は全体の何%」「こう思う方は全体の何%」といった形で統計的に整理いたしますので、お答えいただいた方の個人のご意見がそのまま公表されることは一切ございません。
3. 記入は鉛筆、ボールペンをお使いください。
4. 回答は、問の順番どおりに進み、当てはまる項目を1つ選んで、その番号を○で囲んでください。指示があるとき(○はいくつでも)などはそれに従ってください。
5. 質問によっては回答していただく方が限られる場合がありますので、案内にそってお答えください。
6. 「その他」を選ばれたときは、その内容を〔 〕の中に具体的に記入してください。
7. ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、2月6日(金)までに、郵便ポストに投函してください。

< お問い合わせ先 >

福岡市福祉局高齢社会部 高齢社会政策課
〒810-8620 福岡市中央区天神 1-8-1 Tel : 092-711-4595
「高齢社会に関する調査」担当

1 勤務などの状況についておたずねします

問1 あなたの性別は。（○は1つ）

1. 男性
2. 女性

問2 あなたの年齢は。（令和7年10月1日現在）（○は1つ）

1. 20代
2. 30代
3. 40代
4. 50代
5. 60歳以上

問3 あなたが介護支援専門員として働き始めてから何年ですか。（○は1つ）

1. 1年未満
2. 1年～2年未満
3. 2年～3年未満
4. 3年～6年未満
5. 6年以上

問4 あなたが現在勤めている居宅介護支援事業所、いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）は、介護支援専門員として働き始めて何か所目の事業所ですか。
（異動などによる同一法人内での勤務地の変更は除きます）

〔 〕 か所目

問5 あなたが介護支援専門員以外に取得している資格などは何ですか。（〇はいくつでも）

1. 医師
2. 歯科医師
3. 薬剤師
4. 保健師
5. 助産師
6. 看護師
7. 准看護師
8. 理学療法士
9. 作業療法士
10. 社会福祉士
11. 介護福祉士
12. 視能訓練士
13. 義肢装具士
14. 歯科衛生士
15. 言語聴覚士
16. あん摩マッサージ指圧師
17. はり師
18. きゅう師
19. 柔道整復師
20. 栄養士（管理栄養士を含む）
21. 精神保健福祉士
22. その他〔
23. なし

〕

問6 あなたの勤務形態は次のうちどれですか。（〇は1つ）

1. 常勤・専従 ⇒ 問7へ
2. 常勤・兼務 ⇒ 問6－1 問6－2へ
3. 非常勤・専従 ⇒ 問7へ
4. 非常勤・兼務 ⇒ 問6－1 問6－2へ

【問6で「2」か「4」と答えた方にうかがいます】

問6－1 どのような業務を兼務していますか。（〇はいくつでも）

1. 管理・事務業務
2. 医療系サービス
3. 介護サービス
4. 相談業務
5. その他〔

〕

【問6で「2」か「4」と答えた方にうかがいます】

問6ー2 1週間のうち、居宅介護支援、介護予防支援に従事する時間は平均どれくらいですか。

平均〔 〕時間

ここから再びすべての方にうかがいます

問7 あなたが所属している居宅介護支援事業所、いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の法人種別などは何ですか。（○は1つ）

1. 社会福祉法人
2. 医療法人
3. 社団法人・財団法人
4. 営利法人・民間企業（株式会社、有限会社など）
5. 特定非営利活動法人（NPO法人）
6. 消費者生活協同組合
7. その他〔 〕

問8 あなたが所属している居宅介護支援事業所、いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）には、あなたを含めて何人の介護支援専門員がいますか。

〔 〕人

2 ケアマネジメントについておたずねします

※以下の設問（問9～問14ー2）は令和7年10月の状況についてお答えください

問9 あなたが給付管理を行ったケース（利用者が令和7年10月中にサービスを利用し、介護報酬の対象となったケース）は何件ですか。

〔 〕件

問10 市の福祉サービス、ボランティアなどの保険外サービスを組み合わせて作成したケアプランはありますか。（○は1つ）
あればその件数も記入してください。

1. ある 〔 〕件 ⇒ 問10ー1へ
2. ない ⇒ 問11へ

【問10で「1」と答えた方にうかがいます】

問10-1 そのサービスの種類は何ですか。該当するものの番号を○で囲んでください。
（○はいくつでも）

1. 緊急通報システム
2. 声の訪問
3. おむつサービス
4. 寝具洗濯乾燥消毒サービス
5. 移送サービス
6. あんしんショートステイ
7. 認知症の人の見守りネットワーク（登録制度、捜してメール、検索システム）
8. ふれあいサロン
9. ボランティア、NPO、企業などが行う保険外サービス⇒ 問10-2 問10-3へ
10. その他〔

※「9」を選択していない場合は、
問10-3へ

【問10-1で「9」と答えた方にうかがいます】

問10-2 ケアプランで組み合わせた保険外サービスの内容は何ですか。
（○はいくつでも）

1. ごみ出し
2. 買い物
3. 外出の手助け（付添、介助、送迎など）
4. 掃除
5. 話し相手
6. 洗濯
7. 食事の準備・調理・後始末など
8. 草取り・庭木の剪定
9. 家の中の簡単な修理や電球交換など
10. その他〔

【問１０で「１」と答えた方にうかがいます】

問１０－３ 今後充実が必要と思うサービスは何ですか。（○はいくつでも）

- １．緊急通報システム
- ２．声の訪問
- ３．おむつサービス
- ４．寝具洗濯乾燥消毒サービス
- ５．移送サービス
- ６．あんしんショートステイ
- ７．認知症の人の見守りネットワーク（登録制度、捜してメール、検索システム）
- ８．ふれあいサロン
- ９．ボランティア、NPO、企業などが行う保険外サービス ⇒ 問１０－４へ
- １０．その他〔

※「９」を選択していない場合は、
問１１へ

【問１０－３で「９」と答えた方にうかがいます】

問１０－４ 今後充実が必要な保険外サービスの具体的な内容は何ですか。（○は３つまで）

- １．ごみ出し
- ２．買い物
- ３．外出の手助け（付添、介助、送迎など）
- ４．掃除
- ５．話し相手
- ６．洗濯
- ７．食事の準備・調理・後始末など
- ８．草取り・庭木の剪定
- ９．家の中の簡単な修理や電球交換など
- １０．その他〔

〕

ここから再びすべての方にうかがいます

問１１ 現在、介護サービス受給者の場合、こういった「見守り」サービスが必要だと思いますか。（○はいくつでも）

- １．近隣住民の見守り
- ２．地域の訪問による見守り（民生委員・校区社会福祉協議会・老人クラブ友愛訪問により実施）
- ３．親族等と電話やメールのやり取りを行う見守り
- ４．民間事業者による緊急時に通報できるサービス
- ５．緊急通報システム
- ６．声の訪問

問１２ 今後、こういった「見守り」サービスを充実させるとよいと思いますか。（○は２つまで）

- １．近隣住民の訪問による見守り
- ２．近隣住民が外から様子を伺うさりげない見守り
- ３．訪問員が訪問する見守り
- ４．電話やメールのやり取りを行う見守り
- ５．ゴミ収集や宅配など他のサービスを利用しての見守り
- ６．その他〔

〕

問１３ 認知症の方の支援体制として、どのようなものが不足していると考えますか。（○は２つまで）

- １．認知症に関する知識・対応方法・相談窓口などの普及啓発（広報、講座・講演会など）
- ２．認知症の治療が受けられる身近な医療機関（かかりつけ医）
- ３．認知症治療や介護に関する情報が入手できる仕組み
- ４．認知症の人が緊急時に入院・入所ができる病院・施設
- ５．認知症の人を地域で見守るしくみや居場所
- ６．認知症の人の家族に対する支援
- ７．認知症の人が活躍できる場・機会
- ８．認知症の人の財産や権利を守るための仕組み
- ９．認知症の人にもやさしい商品・サービスの開発・促進
- １０．その他〔

〕

問１４ 在宅での生活が困難なケースはありますか。（○は１つ）
あればその件数も記入してください。

- １．ある（ ）件 ⇒

問 1 4 - 1

問 1 4 - 2

 へ
- ２．ない ⇒

問 1 5

 へ

【問１４で「１」と答えた方にうかがいます】

問１４－１ 具体的にはどのようなケースですか。該当するものの番号を○で囲んでください。（○はいくつでも）また、そのケースの件数も記入してください。

番号	具体的なケース	件数
1	認知症があり、B P S D（行動・心理症状）がある	件
2	食事や排せつなどのA D L悪化により、一人での生活が難しくなった	件
3	在宅サービスのリハビリだけでは時間や回数が足りず、施設入所してさらにリハビリを受ける必要がある	件
4	日中、介護する家族等がないなど、家族の介護が不十分である	件
5	家族の介護放棄・虐待など家庭環境に問題がある	件
6	家族に介護疲れが生じている	件
7	その他〔 〕	件

【問１４で「１」と答えた方にうかがいます】

問１４－２ どのような支援（サービス）があれば、在宅での生活を続けられると思いますか。ご自由にお書きください。（自由記載）

ここから再びすべての方にうかがいます

問１５ これまでに小規模多機能型居宅介護をケアプランに導入した・導入することを検討したことがありますか。（○は１つ）
あればその件数も記入してください。

1. ある 〔 〕 件 ⇒ 問 1 6 へ
 2. ない ⇒ 問 1 5－1 へ

【問15で「2」と答えた方にうかがいます】

問15-1 これまでケアプランに導入していない・導入することを検討していない理由をお答えください。（〇はいくつでも）

1. 利用が適切と思われる対象者が分からないため
2. 利用が適切と思われる対象者がいなかったため
3. 事業所が利用者の居住場所の近隣になかったため
4. 包括報酬であるため、利用者が希望しなかったため
5. 利用者の希望する利用形態と小規模多機能型居宅介護事業所が提供できるサービスが一致しなかったため
6. 居宅介護支援業務を小規模多機能型居宅介護事業所が行うことになるため
7. 小規模多機能型居宅介護のサービス内容を知らないため
8. その他 []

ここから再びすべての方にうかがいます

問16 これまでに定期巡回・随時対応型訪問介護看護をケアプランに導入した・導入することを検討したことがありますか。（〇は1つ）
あればその件数もご記入ください。

1. ある [] 件 ⇒ 問17へ
2. ない ⇒ 問16-1へ

【問16で「2」と答えた方にうかがいます】

問16-1 これまでケアプランに導入していない・導入することを検討していない理由をお答えください。（〇はいくつでも）

1. 利用が適切と思われる対象者が分からないため
2. 利用が適切と思われる対象者がいなかったため
3. 事業所が利用者の居住場所の近隣になかったため
4. 包括報酬であるため、利用者が希望しなかったため
5. 利用者の希望する利用形態と定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所が提供できるサービスが一致しなかったため
6. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の事業所の存在自体を知らなかったため
7. その他 []

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

ここから再びすべての方にうかがいます

問17 介護支援専門員としてケアプランを作成するに当たり、全体的に利用しにくいサービスがあれば、その理由について、該当するものに○をつけてください。

(○はいくつでも)

		事業所の質が悪い	サービスの利用料が高い	サービスの利用の基準が厳しすぎる	サービスの内容が利用者の希望とそぐわない	※右の欄にご記入ください	その他の内容
【記入例】 訪問介護		1	2	3	4	5	
1	訪問介護	1	2	3	4	5	
2	(介護予防) 訪問入浴介護	1	2	3	4	5	
3	(介護予防) 訪問看護	1	2	3	4	5	
4	(介護予防) 訪問リハビリテーション	1	2	3	4	5	
5	(地域密着型) 通所介護	1	2	3	4	5	
6	(介護予防) 通所リハビリテーション	1	2	3	4	5	
7	(介護予防) 福祉用具貸与	1	2	3	4	5	
8	(介護予防) 居宅療養管理指導	1	2	3	4	5	
9	(介護予防) 短期入所生活介護	1	2	3	4	5	
10	(介護予防) 短期入所療養介護	1	2	3	4	5	
11	(介護予防) 特定福祉用具販売	1	2	3	4	5	
12	住宅改修	1	2	3	4	5	
13	(介護予防) 小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4	5	
14	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	2	3	4	5	
15	夜間対応型訪問介護	1	2	3	4	5	
16	(介護予防) 認知症対応型通所介護	1	2	3	4	5	
17	看護小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4	5	
18	介護予防型訪問サービス	1	2	3	4	5	
19	介護予防型通所サービス	1	2	3	4	5	
20	生活支援型訪問サービス	1	2	3	4	5	
21	生活支援型通所サービス	1	2	3	4	5	
22	その他の介護（予防）サービス 〔 〕	1	2	3	4	5	

福岡市 高齢社会に関する調査（介護支援専門員調査）

問18 介護支援専門員としてケアプランを作成するに当たり、全体的に必ずしも必要ではないが、計画に組み込んでいるサービス（過剰サービス）があれば、その理由について、該当するものに○をつけてください。（○はいくつでも）

		必ずしも必要ではないが、利用者サービス希望し、調整が難しかった	必ずしも必要ではないが、家族サービス希望し、調整が難しかった	必ずしも必要ではないが、あなたの所属する事業所や関係事業所の意向で組み込んだ	必ずしも必要ではないが、利用すると安心だと考え、利用を勧めた	※その他 右の欄にご記入ください	その他の内容
【記入例】 訪問介護		1	2	3	4	5	
1	訪問介護	1	2	3	4	5	
2	（介護予防）訪問入浴介護	1	2	3	4	5	
3	（介護予防）訪問看護	1	2	3	4	5	
4	（介護予防）訪問リハビリテーション	1	2	3	4	5	
5	（地域密着型）通所介護	1	2	3	4	5	
6	（介護予防）通所リハビリテーション	1	2	3	4	5	
7	（介護予防）福祉用具貸与	1	2	3	4	5	
8	（介護予防）居宅療養管理指導	1	2	3	4	5	
9	（介護予防）短期入所生活介護	1	2	3	4	5	
10	（介護予防）短期入所療養介護	1	2	3	4	5	
11	（介護予防）特定福祉用具販売	1	2	3	4	5	
12	住宅改修	1	2	3	4	5	
13	（介護予防）小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4	5	
14	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	2	3	4	5	
15	夜間対応型訪問介護	1	2	3	4	5	
16	（介護予防）認知症対応型通所介護	1	2	3	4	5	
17	看護小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4	5	
18	介護予防型訪問サービス	1	2	3	4	5	
19	介護予防型通所サービス	1	2	3	4	5	
20	生活支援型訪問サービス	1	2	3	4	5	
21	生活支援型通所サービス	1	2	3	4	5	
22	その他の介護（予防）サービス 〔 〕	1	2	3	4	5	

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

問19 介護支援専門員としてケアプランを作成するに当たり、全体的に改善を要すると思うサービスがあれば、その理由について、該当するものに○をつけてください。
(○はいくつでも)

			必要なサービスを提供 する事業所が利用者の 近くになかった	事業所はあったが、希望 時間に提供できなかった	利用者がサービスを希望 しなかった	家族がサービスを希望 しなかった	利用者、家族がこれ以上の サービス利用料を負担でき なかった	※右の欄にご記入ください その他	その他の内容
【記入例】 訪問介護		1	2	3	4	5	6		
1	訪問介護	1	2	3	4	5	6		
2	(介護予防) 訪問入浴介護	1	2	3	4	5	6		
3	(介護予防) 訪問看護	1	2	3	4	5	6		
4	(介護予防) 訪問リハビリテーション	1	2	3	4	5	6		
5	(地域密着型) 通所介護	1	2	3	4	5	6		
6	(介護予防) 通所リハビリテーション	1	2	3	4	5	6		
7	(介護予防) 福祉用具貸与	1	2	3	4	5	6		
8	(介護予防) 居宅療養管理指導	1	2	3	4	5	6		
9	(介護予防) 短期入所生活介護	1	2	3	4	5	6		
10	(介護予防) 短期入所療養介護	1	2	3	4	5	6		
11	(介護予防) 特定福祉用具販売	1	2	3	4	5	6		
12	住宅改修	1	2	3	4	5	6		
13	(介護予防) 小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4	5	6		
14	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	2	3	4	5	6		
15	夜間対応型訪問介護	1	2	3	4	5	6		
16	(介護予防) 認知症対応型通所介護	1	2	3	4	5	6		
17	看護小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4	5	6		
18	介護予防型訪問サービス	1	2	3	4	5	6		
19	介護予防型通所サービス	1	2	3	4	5	6		
20	生活支援型訪問サービス	1	2	3	4	5	6		
21	生活支援型通所サービス	1	2	3	4	5	6		
22	その他の介護（予防）サービス 〔								

問20 サービス提供事業所に関する情報収集や連絡・調整はどのようにしていますか。

（〇はいくつでも）

1. サービス提供事業所のパンフレットなどの収集
2. サービス提供事業所のホームページの閲覧
3. 地域単位の事業者情報誌などを閲覧
4. 市のホームページを閲覧
5. 介護サービス情報公表システムを閲覧
6. 事業者協議会に参加
7. 区の介護支援専門員の連絡会などに参加
8. 電話・面談などで直接、事業所に問い合わせ
9. その他〔
10. 特に行っていない

〕

問21 ケアプランの作成に当たり、医療機関などからの情報収集などはどのようにしていますか。（〇はいくつでも）

1. 主治医意見書を区役所から入手
2. 主治医連絡票などを利用して問い合わせ
3. 主治医へ電話・面談などで直接問い合わせ
4. ケアノート
5. その他〔
6. 特に行っていない

〕

問22 本人の残存能力の維持・向上につながる支援ができたと思うケアプランを、これまでどの程度作成できたと考えますか。（〇は1つ）

- | | | |
|-----------|---|----------|
| 1. 1割以下 | } | ⇒ 問22-1へ |
| 2. 1～2割程度 | | |
| 3. 3～4割程度 | } | ⇒ 問23へ |
| 4. 5～6割程度 | | |
| 5. 7～8割程度 | | |
| 6. 9割以上 | | |

【問22で「1」か「2」と答えた方にうかがいます】

問22-1 そのように考える理由は何ですか。（〇はいくつでも）

1. 対象者自身が、求めている支援以外は受け入れない。または積極的に受け入れない
2. 家族が必要と思うサービスのみを強く要望され、介護支援専門員の意見は求めない（受け入れない）
3. 「残存能力の維持向上につながる支援」について、介護支援専門員自身の知識または認識が不足している
4. プランが「残存能力の維持向上につながっているか」の判断ができない、あるいは自信が持てない
5. 「残存能力の維持向上につながる」支援について相談できる人がいない
6. 「残存能力の維持向上につながる」サービスや地域情報について把握が不十分である
7. 対象者の生活圏域に介護サービス以外に利用できるインフォーマルサービス（地域のサークルやふれあいサロンなど）が不足している
8. その他〔 〕

ここから再びすべての方にうかがいます

問23 ケアプランを作成する上で、分からないことや困ったことがあったとき、主に誰に相談していますか。（〇は1つ）

1. 同一法人の介護支援専門員
2. 他法人の介護支援専門員
3. 区の介護支援専門員の連絡会など
4. いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）
5. 区役所
6. 福岡市福祉局
7. 福岡県保健医療介護部
8. 国民健康保険団体連合会
9. その他〔 〕
10. 相談できる相手がいない

問24 どのようなことを相談していますか。（〇はいくつでも）

1. 多方面の問題を抱えている事例への対応に関すること
2. 利用者・家族間の意見調整に関すること
3. サービスの適否判断
4. 「3. サービスの適否判断」以外の介護支援専門員業務に関すること
5. 介護保険外のサービス利用に関すること
6. 介護報酬請求事務に関すること
7. その他〔 〕
8. 特に相談することはない

問25 ケアプランを作成する際に、何を重視してサービスを組み立てていますか。下記の項目から上位3つを選択し、番号を記入してください。

1位 []

2位 []

3位 []

- ## 1. 自立支援の視点

- ## 2. 本人の希望

- ### 3. 本人の残存能力

- ## 4. 課題分析の結果

- ## 5. 家族の希望

- ## 6. 主治医の意見

- ## 7. 事業所の意向

8. その他「

問26 あなたは利用者に対して、どんな基準を重視してサービス事業所を紹介していますか。(○は2つまで)

- ## 1. 利用者の自宅から近いかどうか

2. 利用者・家族が望むサービス内容・プログラムであるかどうか

3. 本人の残存能力を引き出せるようなサービス提供を行っているか

4. 介護支援専門員の中から見て、サービスの質が高い事業所であるかどうか

5. 自分が勤務している居宅介護支援事業所の併設事業所であるかどうか

6. 利用者・家族が知っている又は希望する事業所であるかどうか

7. その他〔 〕

3 介護予防・生活支援サービス事業についておたずねします

※この項目の設問（問27～問30）は、要支援者のケアプランを作成した方のみお答えください
要支援者のケアプランを作成していない方は、問31へ

問27 訪問サービスについて、類型の位置付けの状況を教えてください。(〇は1つ)

1. 全て介護予防型を位置付けた ⇒ 問27-1へ

2. 介護予防型と生活支援型のどちらも ⇒ **問27-1** **問27-2**へ
位置付けたことがある

3. 全て生活支援型を位置付けた ⇒ 問27-2へ

4. 訪問サービスを位置付けたことがない ⇒ 問28へ

【問27で「1」か「2」と答えた方にうかがいます】

問27-1 介護予防型を位置付けた理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 身体介護（入浴、排せつ等）が必要
2. 日常生活に支障をきたす認知症の症状・行動、意思疎通困難がみられる
3. 精神疾患等の疾病がありヘルパーの交代が病状等の悪化につながる恐れがある
4. 退院直後や骨折等により一時的にサービス利用が必要
5. 本人・家族の希望（1～4に該当する場合を除く）
6. その他〔

〕

【問27で「2」か「3」と答えた方にうかがいます】

問27-2 生活支援型を位置付けた理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 身体介護（入浴、排せつ等）が不要
2. その他、介護予防型を位置付ける必要が無いと判断したから
3. 本人・家族の希望（1～2に該当する場合を除く）
4. その他〔

〕

ここから再びすべての方にうかがいます

問28 通所サービスについて、類型の位置付けの状況を教えてください。（○は1つ）

- | | | | |
|-------------------------------|---|-------|-------|
| 1. 全て介護予防型を位置付けた | ⇒ | 問28-1 | へ |
| 2. 介護予防型と生活支援型のどちらも位置付けたことがある | ⇒ | 問28-1 | 問28-2 |
| 3. 全て生活支援型を位置付けた | ⇒ | 問28-2 | へ |
| 4. 通所サービスを位置付けたことがない | ⇒ | 問29 | へ |

【問28で「1」か「2」と答えた方にうかがいます】

問28-1 介護予防型を位置付けた理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 身体介護（入浴、排せつ等）が必要
2. 日常生活に支障をきたす認知症の症状・行動、意思疎通困難がみられる
3. 精神疾患等の疾病がありヘルパーの交代が病状等の悪化につながる恐れがある
4. 退院直後や骨折等により一時的にサービス利用が必要
5. 本人・家族の希望（1～4に該当する場合を除く）
6. その他〔

〕

【問28で「2」か「3」と答えた方にうかがいます】

問28-2 生活支援型を位置付けた理由は何ですか。（〇はいくつでも）

1. 身体介護（入浴、排せつ等）が不要
2. その他、介護予防型を位置付ける必要が無いと判断したから
3. 本人・家族の希望（1～2に該当する場合を除く）
4. その他〔

〕

ここから再びすべての方にうかがいます

問29 サービス選択のフローチャートを知っていますか。（〇は1つ）

1. よく知っている
 2. 「介護予防マネジメントマニュアル」
に記載されていることは知っている
 3. 知らない
- ⇒ 問29-1へ
- ⇒ 問30へ

【問29で「1」か「2」と答えた方にうかがいます】

問29-1 サービス選択のフローチャートを活用していますか。（〇は1つ）

1. 毎回活用している
 2. 活用しているが毎回ではない
 3. 活用したことがない
- ⇒ 問30へ
- ⇒ 問29-2へ

【問29-1で「2」か「3」と答えた方にうかがいます】

問29-2 活用しなかった理由は何ですか（〇はいくつでも）

1. 参考にならないから
2. 生活支援型の事業所が不足しているから
3. 本人・家族の希望を優先するため
4. その他〔

〕

ここから再びすべての方にうかがいます

問30 生活支援型サービスの普及に有効な方法について、あなたの考えを教えてください。（〇はいくつでも）

1. プランナーへの周知
2. 市民への広報
3. 生活支援型の利用料をさらに下げる
4. 提供事業者の増加
5. サービス提供人材の確保
6. サービス選択基準（フローチャート）の活用促進
7. その他〔

〕

4 他機関との連携についておたずねします

問31 主治医との連絡・報告を行っていますか。（〇はいくつでも）

- 1. ケアプランの新規作成及び変更時に行っている
 - 2. 利用者の病気やケガなど緊急時に行っている
 - 3. 上記の1・2以外に定期的に行っている
 - 4. 行っていないことが多い⇒ 問31-2へ
- } ⇒ 問31-1へ

【問31で「1」～「3」と答えた方にうかがいます】

問31-1 主治医との連携で、苦慮していることはありますか。（〇はいくつでも）

- 1. 連絡する時間帯の判断に迷う
- 2. 連絡方法（電話、メール、面談など）の判断に迷う
- 3. 知識不足のため、主治医の説明を理解できないことがある
- 4. その他 []
- 5. 特に苦慮していることはない

【問31で「4」と答えた方にうかがいます】

問31-2 主治医に連絡・報告を行っていない理由は何ですか。（〇はいくつでも）

- 1. 連絡する時間がない
- 2. 主治医に時間をとってもらえない
- 3. 医師とコミュニケーションを図ることに自信が持てない
- 4. その他 []
- 5. 特に必要がない

ここから再びすべての方にうかがいます

問32 個別や圏域での地域ケア会議に参加したことはありますか。（〇は1つ）

- 1. ある⇒ 問32-1へ
- 2. ない⇒ 問33へ

【問32で「1」と答えた方にうかがいます】

問32-1 参加後、業務の円滑化に役立ちましたか。（〇は1つ）

- 1. 専門職間の連携が進んだ
- 2. 医療機関との連携が進んだ
- 3. 利用者の納得を得やすくなった
- 4. 利用者の状況に合うケアプランを作成できるようになった
- 5. わからない
- 6. 特に役に立たなかった

ここから再びすべての方にうかがいます

問33 あなたは、8050問題など、対応の難しい複雑化した課題に関わることに
なった際、どのような機関に相談したり、連携を図りたいですか。（〇はいくつでも）

1. 地域包括支援センター（いきいきセンターふくおか）
2. 障がい者基幹相談支援センター
3. 児童相談所
4. 生活自立支援センター
5. 区役所・保健福祉センター
6. その他〔

〕

5 処遇困難事例などへの対応についておたずねします

問34 処遇困難事例に対応する必要がある場合、区役所またはいきいきセンターふく
か（地域包括支援センター）に相談していますか。（〇は1つ）

1. よく相談している
 2. ときどき相談している
 3. 相談していない
- ⇒ 問34-1へ
- ⇒ 問35へ

【問34で「1」か「2」と答えた方にうかがいます】

問34-1 どのような場合にどのようなことを相談していますか。ご自由にお書きくだ
さい。（自由記載）

ここから再びすべての方にうかがいます

問35 給付管理を行っている方のうち、成年後見制度の利用が必要だと思われる場合、
どの相談窓口（誰）に相談していますか。（〇はいくつでも）

1. 福岡市成年後見推進センター
2. 福岡県弁護士会 高齢者・障害者総合支援センターあいゆう
3. 成年後見センター・リーガルサポートセンターふくおか
4. 権利擁護センターぱあとなあ福岡
5. 法テラス福岡（日本司法支援センター）
6. いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）
7. 区役所
8. 九州北部税理士会 成年後見センター
9. コスモスふくおか（コスモス成年後見サポートセンター福岡県支部）
10. NPOなど上記1～9以外の相談窓口
11. 知っている弁護士
12. 知っている司法書士
13. 知っている社会福祉士
14. 知っている税理士
15. 知っている行政書士
16. その他 []

問36 次の表は、成年後見制度の利用が必要と考えられる方の状態像の例です。現在（回答時点） 給付管理を行っている方のうち、次の表の状態像の例に該当する人数を、今後、成年後見制度の利用が必要になるとと思われる時期別に記入してください。

※1：対象者1人につき2つ以上の状態像に該当する場合は、最も当てはまると考える状態像にカウントして下さい。

※2：現在、成年後見制度を申立て中、または利用等で課題が解決している方は、カウントしないでください。

※3：それぞれの状態像に該当する方で、把握している現状において、本人や親族による制度利用の手続きが非常に困難と思われる方の人数を、各記入欄の下段に内数として記入してください。

成年後見制度の利用が必要と考えられる状態像		制度利用が必要になるとと思われる時期		
		1年以内	1～3年程度	わからない
1	本人の判断能力が不十分であるため、治療や介護・福祉サービスの必要性や契約を理解できない、拒否があるなど支援が進まない	人	人	人
	上記状態像に該当する方のうち、本人や親族による制度利用の手続きが非常に困難と思われる方	人	人	人
2	本人の判断能力が不十分であるため、以下のような金銭や財産の管理に関する状況が発生している。 ・商品を次々購入するなど、収入に見合った適切な支出ができない ・預貯金等の管理・解約ができない ・保険金の受け取りができない ・税や保険料、利用料などを現に滞納、または負債があるが、適切に返済等の対応ができていない ・土地や建物、有価証券等の資産の管理が適切でない	人	人	人
	上記状態像に該当する方のうち、本人や親族による制度利用の手続きが非常に困難と思われる方	人	人	人
3	本人の判断能力が不十分であるため、預金や年金を取り上げられるなど経済的虐待や金銭搾取、その他の虐待（身体的・性的・心理的・ネグレクト等）を受けている、またはその疑いがある	人	人	人
	上記状態像に該当する方のうち、本人や親族による制度利用の手続きが非常に困難と思われる方	人	人	人
4	本人の判断能力が不十分であるため、不動産の処分や遺産分割協議、相続、訴訟手続きなどの法律行為を行えない。消費者被害や悪徳業者につきまといられている、またはその疑いがある。	人	人	人
	上記状態像に該当する方のうち、本人や親族による制度利用の手続きが非常に困難と思われる方	人	人	人
5	本人の判断能力が不十分であるために、その他困難な事情があるが、適切に対応できていない	人	人	人
	上記状態像に該当する方のうち、本人や親族による制度利用の手続きが非常に困難と思われる方	人	人	人

6 行政の役割についておたずねします

問37 介護の現場で抱えている課題や、今後、行政に期待する役割は何ですか。

（〇はいくつでも）

1. 相談機能の充実
2. AIなどの先進的技術の推進
3. 介護ロボット、福祉用具などの介護の身体的負担を軽減する機器等の普及
4. 介護人材の確保に向けた取り組みの充実
5. 研修機能の充実
6. サービス基盤の整備 ⇒問37-1へ
7. 情報提供の充実
8. その他 []

【問37で「6」と答えた方にうかがいます】

問37-1 特にどのサービス基盤を整備する必要がある（需要に対して不足している）
と思いますか。（〇はいくつでも）

1. 訪問介護
2. （介護予防）訪問入浴介護
3. （介護予防）訪問介護
4. （介護予防）訪問リハビリステーション
5. （地域密着型）通所介護
6. （介護予防）通所リハビリステーション
7. （介護予防）福祉用具貸与
8. （介護予防）居宅療養管理指導
9. （介護予防）短期入所生活介護
10. （介護予防）短期入所療養介護
11. （介護予防）特定福祉用具販売
12. 住宅改修
13. （介護予防）小規模多機能型居宅介護
14. 定期巡回・随時対応型訪問介護看
15. 夜間対応型訪問介護
16. （介護予防）認知症対応型通所介護
17. （介護予防）認知症対応型共同生活介護
18. 看護小規模多機能型居宅介護
19. （介護予防）特定施設入居者生活介護
20. 介護老人福祉施設
21. 介護老人保健施設
22. 介護療養型医療施設
23. 介護医療院

福岡市 高齢社会に関する調査（介護支援専門員調査）

- 24．介護予防型訪問サービス
- 25．介護予防型通所サービス
- 26．生活支援型訪問サービス
- 27．生活支援型通所サービス
- 28．その他〔

〕

質問は以上です。

～ 長時間ご協力いただき、本当にありがとうございました ～